

国後島産の *M. japonicum* の標本を調べており、「*M. japonicum* は、日本と露国の両方に生息する種」としている（注、Fikáček *et al.* (2012) は、Hoshina & Cho (2008) を引用していない）。日本人としては、当然ながら、この見解に従うことはできない。よって、筆者は、今後も、*M. japonicum* は、「日本と韓国にのみ生息する種である」と扱っておく。

#### 引用文献

- Fikáček, M., F. Jia & A. Prokin, 2012. A review of the Asian species of the genus *Pachysternum* (Coleoptera: Hydrophilidae: Sphaeridiinae). *Zootaxa*, 3219: 1–53.
- Hoshina, H. & Y. B. Cho, 2008. Notes on the subfamily Sphaeridiinae (Coleoptera: Hydrophilidae) from Korea, I. The *Entomological Review of Japan*, 63: 125–127.
- Hoshina, H. & M. Satō, 2005. Synonymic notes on two species of the families Hydrophilidae and Leiodidae (Coleoptera) from Japan. *The Entomological Review of Japan*, 60: 13–16.
- Motschulsky, V., 1866. Catalogue des Insectes reçus du Japon. *Bulletin de la Société impériale des Naturalistes de Moscou*, 39: 163–200.
- 佐藤正孝, 1985. ガムシ科. p. 209–216. 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝編著. 原色日本甲虫図鑑 (II). 保育社. 514 pp.
- Shatrovskiy, A. G., 1989. Hydraenidae, Hydrophilidae. p. 260–293. Ler, P. A. (ed.). *Operedelitel' nasekomykh Dal'nego Vostoka SSSR v shesti tomakh. Vol. 3. Zhestkokrylye, ili zhuki (part I)*. 572 pp. Nauka, Leningrad (in Russian).

(保科英人 910–8507 福井市文京 3–9–1  
福井大学教育地域科学部)

#### 【短報】感潮域からホンシュウセスジダルマガムシを採集

セスジダルマガムシ属の海岸部に生息する種は、日本からは従来、塩分濃度 0～1.8% のタイドプールに生息するシオダマリセスジダルマガムシのみが知られていた（吉富ほか, 2000）。また、海岸部の岸壁を伝う淡水中に生息する種としてニッポ

ンセスジダルマガムシが知られており（吉富ほか, 2000）、平地から山地の溪流に生息するとされていたセスジダルマガムシもニッポンセスジダルマガムシと同様の環境からも記録されている（菅谷, 2009）。今回、塩分の混じる水域に生息する種としてシオダマリセスジダルマガムシに続いて 2 種目となるホンシュウセスジダルマガムシ *Ochthebius japonicus* Jäch を河口の感潮域から採集したので報告する。本種は今まで平地から低山地の溪流や小川、大河川の中流域などに生息するとされていた（吉富ほか, 2000）。

ホンシュウセスジダルマガムシ *Ochthebius japonicus* Jäch (図1, 2)

85exs., 三重県尾鷲市三木里町八十川, 30. VIII. 2011, 稲畑採集. 稲畑・吉富保管.

採集地は、三重県尾鷲市三木里町を流れる八十川（やそがわ）である。源流部の標高は約 600～690 m ほどあるがわずかに 4 km 程度で河口に達する小川である。採集は 15 時 30 分ころから約 1 時間おこない、満潮時にほぼ完全に水没する環境を選んだ（図 3, 4）。ほとんどの個体は水面から突き出た礫の水際付近のくぼみに潜んでいるのを採集した。河床の礫はごつごつして大きく、付着藻類はほとんど繁殖しておらず水も澄んでいたので、上流域のような感じを受けた。本来上流域で採集されることの多い本種が、河口で採集されたのはこの河川長の短さが関係しているかもしれない。塩分濃度は計測していないが、満潮直後に舐めてみたところ、感潮域の上流端ではほとんど無味で、河口に近づくほど塩味を強く感じたので塩分濃度に大きな差があったと考えられる。採集個体の大部分は塩味をほとんど感じない場所で採集したが、少数は塩味を若干感じる部分でも得られた。同属のハセガワダルマガムシでは、増水により一週間ほど水没していたと推定された事例が報告されている（中島ほか, 2004）。今回の例も干満の度に海水の影響を受けない上流に避難しているとは考えにくい。満潮時は水没しているものと思われる。採集時は天気がよく暖かかったので、本種が飛ぶかどうか手のひらに乗せて実験したところ、すぐに翅を広げて飛ぶものの数センチ飛んで手のひらの上に落下する有様であった。それ以上確かめなかったが飛ぶのがあまり上手ではないのかもしれない。通常の色彩の個体に混じって背面が黒っぽい個体を 5 頭採集したが、吉富 (2012, 私信) によるとホンシュウセスジダルマガムシの擦れた個体であろうとのことである。



図1–2. ホンシュウセスジダルマガムシ. 1: 通常の個体; 2: 黒っぽい個体.



図3. 干潮時, 30日16時34分撮影, この日の干潮時刻11時44分.



図4. 満潮時, 31日6時54分撮影, この日の満潮時刻6時02分.

最後に, 文献と本種の同定についてご教示いただき, 発表を勧めていただいた愛媛大学の吉富博之博士にお礼申し上げる.

#### 引用文献

- 吉富博之・松井英司・佐藤光一・疋田直之, 2000. 日本産セスジダルマガムシ属概説, 甲虫ニュース, (130): 5-11.  
 中島 淳・緒方 健, 2004. 福岡県・佐賀県におけるセスジダルマガムシ属4種の採集記録, 甲虫ニュース, (147): 13-14.  
 菅谷和希, 2009. セスジダルマガムシ属2種を千葉県海岸部より採集, 月刊むし, (465): 46.

(稲畑憲昭 600-8238 京都市下京区東堀川通木津屋橋下る御方紺屋町 3-206)

#### 【短報】愛媛県面河溪から新種として記載された *Anostirus* 属のコメツキムシ

日本から知られている *Anostirus* 属の種は, ダイミョウコメツキ (*A. daimio*) とツマガヒロヒラタコメツキ (*A. castaneus japonicus*) の2種であるが, 最近, イタリアの Dr. G. Platia が, 愛媛県面河溪から

*A. omogoensis* と命名した新種を記載した. 体長は11 mm で体幅は3 mm, 体は上翅も含めて黒色で, 上翅の翅底部の第3, 4間室あたりと上翅側縁部の一部などに判然としない黄橙色斑を有し, 肢は黒褐色である. 触

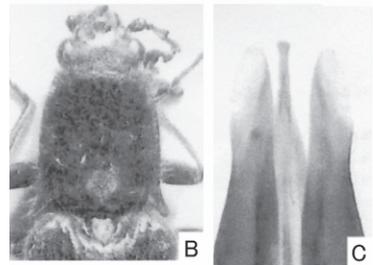


図1. 原記載で示された図の一部: A, 右触角の基部3節; B, 頭部と前胸背板; C, ♂交尾器の末端部(背面).

角は破損しており, 左触角は基部節のみ, 右触角は基部3節のみが残っている個体である(図1A). タイプ標本は1♂, Omogo Valley, Kumakogen town, 8. V. 2005, T. Kurihara & T. Koseki としている. この個体を採集された栗原隆博士によれば, 面河山岳博物館付近のカエデの花上から見出し, チェコの知人にカミキリとの交換用に送った個体で, それが Dr. Platia に渡り, 新種として記載されたようだとのことである. この新種の形態の一部は図示されているが, この属では♂は通常第3節から櫛歯状をしているが, 図1Aでは棍棒状(原記載では triangular)に近い形態をしており, 奇形のように思われる. いずれにしても, 日本からこの属の新種が記載されたことは思いもよらないことである. 原記載とその不鮮明な付図だけでは正確なことは判明しないので, 今後, 同好者の支援を得て, この新種の実体の解明をして行きたいと思う.

末尾に, 本種の採集経緯について御教示をいただいた栃木県立博物館の栗原隆博士, 文献の入手について支援をいただいた大阪市の有本久之氏に心から御礼を申しあげる.

#### 引用文献

- Platia, G., 2011. Description of three new species of click beetles from the Palearctic Region, with new distributional records (Coleoptera, Elateridae). Bol. Soc. Ent. Aragonesa (S. E. A), 49(31/ 12/ 2011): 19-22.

(大平仁夫 444-3511 岡崎市舞木町狐山 6-4)